

地域別教育懇談会は 大学で集中開催します

日本工業大学後援会 会報

第 116 号

発行 / 日本工業大学後援会

埼玉県南埼玉郡宮代町学園台四一
一〇四八〇)三四一四二一(代
令和三年七月三十日
http://nikokenai.jp/

R100

就任のご挨拶



会長 宮下 和彦 (A4新潟)

このたび、鈴木前会長より託され、令和3年度日本工業大学後援会の会長に就任いたしました宮下でございます。歴代の方々の後援会活動と保護者の思いを継承し、微力ではございますが、大学の発展とご息女、ご息女のキャンパスライフ充実のために支援体制を強化していきたくと思っておりますので、会員皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、日常生活はもちろん私たちを取り巻く社会環境全てに『新しい生活様式』という急激な変化がもたらされました。オンライン化が進み、在宅での授業や仕事が可能になり、多様性を重視した学び方や働き方ができるようになりました。

その一つとして、無人のコンビニや空港、ホテル等でAIを活用した『スマート社会』が実現してきています。これらを踏まえ、日本工業大学ではこれからの超スマート

社会で活躍できる人材を育成するために、2022年4月『データサイエンス学科』が新たに誕生すると伺っています。また、全学部・学科で学べる『データサイエンスプログラム』も開設予定です。データ分析・AI・IoTなどを中心に、実践的なデータサイエンスの知識と技術を身につけられるため、卒業後はさまざまな分野で価値を創造できる人材として活躍できる技術者が生まれることでしょう。日本工業大学の建学の精神・理念にも『実工学の理念にもとづく工学教育と先進的研究により、新たな価値創造と科学技術の発展に寄与する』と謳っています。

先にあげた、『データサイエンス学科』開設などを進める日本工業大学は、『SDG』にも積極的に取り組んでおり、将来を担う学生にはより良い教育環境だと思えます。SDGとは持続可能な開発目標のことで、より良い世界に向けた17の目標が掲げられ、2030年をゴールに各国で取り組まれています。日本工業大学でも環境推進活動をし、低炭素社会を目指して省エネルギー活動を続ける中で、エコ大学ランキングの『五つ星エコ大

学』受賞、サステイナブルキャンパス評価では『プラチナ認証』を得るなど意欲的に取り組んでいます。まさに、大学の教育方針そのものが『SDG』であり、後援会としても末永く『縁の下の力持ち』的存在でありたいと考えております。

昨年度は、思いもよらないコロナ禍に見舞われ、大学はもちろん本会も打撃を受けました。活動の目玉である『地域別教育懇談会』の開催中止を余儀なくされ、他の行事や活動も縮小する方向で行い、特に各支部の方は会員の勧誘などに苦労されたことでしょう。

そのような状況のため、今年度は初の試みとして、地域別教育懇談会を近県以外と近県の2回に分けて、大学を会場に集中開催する予定で進めています。このご時世ですが、感染リスクを避け持続可能な活動は、今後の本会にとっても大事だと感じております。

また、総会時の就任挨拶で述べたように、会員相互の『緩やか』な活動・親睦をモットーに『気さく』な関係を築きたいと思っておりますので、ぜひ気楽に本会の活動にご参加いただければ幸いです。最後にになりましたが、会員皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

「新任理事研修会」は毎年6月に開催している恒例行事ですが、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により11月に延期となりました。しかし感染拡大が収まらず、止むを得ず中止となってしまう状態に就任後1年間、全く活動に参加できない状態でしたが、6月19日(土)、ようやく令和2年度と3年度の新任理事を対象に、開催に漕ぎつきました。

当日は役員と新任理事合わせて30名が出席。5号館の教室において、

2年ぶりに新任理事研修会を開催

成田学長、竹内学長補佐、辻村教務部長、林総務部長より、それぞれの部門の興味深いお話をいただき聴講しました。

昼食は、アクリル板の仕切りが設置され、感染予防対策が万全の学食にて、ビーフストロガノフとメンチカツのランチセットを食しました。安くてボリュームのある内容に大満足の様子でした。

学内見学後の自己紹介では、本学の卒業生や縁のある方が数名いらっしや、今後のご活躍が期待されます。今年度は例年のように懇親会が開けないのは残念でしたが、対面でお話しすることが叶い、実りある研修会となりました。



成田学長の話聞く新任理事



授業中の機械実工学教育センターを見学

令和3年度 定期総会開催



当日は清々しい好天に恵まれました

第44代会長に宮下和彦氏を選任

5月23日(日)午後1時より、大学学友会館ホールにて令和3年度後援会定期総会が開催されました。昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により書面による審議をいただきましたが、今年は感染対策をして無事に開催することができました。ご協力いただきました会員の皆様にご場をお借りして感謝申し上げます。

当日は72名の会員(委任状出席は1,430名)と12名のOB、成田学長以下大学執行部・各課長が出席。源本副会長(A卒・大阪)を議長に選出して議事を進行了しました。

第1号議案「令和2年度事業報告」を宮下副会長(A4・新潟)より、第2号議案「令和2年度決算報告」を菅垣財務(A3・神奈川)より説明。「同監査報告」を熊谷監事(I4・埼玉)より報告。以上一括審議の上、拍手により承認されました。

続いて、第3号議案「令和3年度事業計画案」を金子総務(A2・群馬)より、第4号議案「令和3年度予算案」を金井財務(A4・埼玉)より説明。一括審議の上、拍手により承認されました。

本年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し、会員の皆様への経済的支援として秋学期の後援会会費の半額(5,000円)を減免することを決定しました。



ホールでは間隔を空けて着席

令和3年度後援会会費(秋学期5,000円分)を減免

また地域別教育懇談会については、コロナ禍により、従来の支部主催で全国各地において開催するというスタイルでは計画が立てにくい状況にあるため、令和3年度は特例として、大学を会場に2日間に分けて集中開催とすることが認められました。

続いて第5号議案「理事・監事の銓衡」は、野口銓衡委員長(S4・長野)により、銓衡委員会による銓衡結果を報告。理事候補者87名、監事候補者2名の名簿が示され、慎重審議の上、全員が満場拍手によって承認されました。

引き続き、新役員選出について審議され、会長には宮下和彦氏が選任されました。

総会終了後、一般会員は3班に分かれて学内見学を実施。学友会館ホールでは新旧理事による理事会が行われ、本総会をもって退任された理事の皆様一人ひとりに成田学長より感謝状と記念品が授与されました。



成田学長から鈴木前会長に感謝状を贈呈

令和3年度 地域別教育懇談会は大学を会場に集中開催となります

地域別教育懇談会開催のお知らせ

開催日	9月26日(日)
会場	日本工業大学5号館
対象	埼玉県・東京都・神奈川県以外の全道府県に在住の会員

開催日	10月10日(日)
会場	日本工業大学5号館
対象	埼玉県・東京都・神奈川県に在住の会員

※詳細はご自宅に届く案内文をご覧ください。

本会の目玉事業である「地域別教育懇談会」は、コロナ禍により、令和3年度は特例として、全会員を対象に大学を会場とした集中開催となります。日程及び対象地域は左記の通りです。当日は、お子様の成績表を見ながら、会員と先生との個別面談



過去の個別面談の様子

が中心となります。また、開催の概要について、6月20日(日)の支部連絡協議会において支部長と打合せを行いました。当日は、会場に支部会員交流のためのブースを設ける支部もありましたので、是非お立ち寄りください。



6月20日に開催した支部連絡協議会の様子